

# 令和6年度 学校経営の方針

山形市立西山形小学校


## 1 学校教育目標

「たくましい心と体を持ち、進んで学び、郷土を愛する子ども」の育成

《短・中期的にめざす具体的な子どもの姿》

これからの社会の担い手として必要な学力や資質・能力を持ち、  
西山形地区に生まれ育ったことを「誇り」に感じている子ども



【めざす子ども像】っ子：友と学び合う子ども・感動できる子ども・未来を生き抜く子ども

## 2 経営の方針 ※ (3) を重点として

地域の教育力を生かし、広がりのある体験・学びができる一人一人が主役の学校づくり

- (1) 五感をはたらかせた体験・学びを充実させていく。
- (2) 「少人数のよさ」を生かし、一人一人の探究的な学びを充実させていく。
- (3) 西山形地区の豊富な人材・豊かな自然・唯一無二の歴史・伝統を、最大限に生かしていく。
- (4) 今後隣接するコミュニティセンターや学童クラブ等と連携し、それらにつながる学習を実施していく。
- (5) 教職員が集中して学習や活動の準備ができるように、共通理解を図りながら組織および環境を整えていく。

## 3 教育目標の具現化のための主な活動

- (1) 五感をはたらかせた体験・学びを充実させていく。
- (2) 「少人数のよさ」を生かし、一人一人の探究的な学びを充実させていく。

### ①「いのちの教育」の推進

- 人には「ちがい」があることを学ばせる。そのため、「ちがい」を認め合える温かい関わりのある学級づくりを、特に1学期、じっくり腰を据え、時間をかけ、丁寧に取り組んでいく。
  - ・具体的な学級目標と評価（上期・下期）
  - ・いじめアンケート（6月、10月）
  - ・日頃の確かな見取り
  - ・Q Uアンケート（5月）
- ジェンダーフリー化の推進・多様性を大事にする心の醸成
- 「自己有用感」をもたせることを軸にした「自己肯定感」の育成
- 特別な教科「道徳」の授業の充実と個人内評価の工夫

### ②基本的な生活習慣の定着と体力づくり

- すっきりとして生活リズムがとりやすい週時程の創造
- 早寝、早起き、朝ごはんの定着化
- 電子メディアコントロールデーの習慣化
- 運動の奨励（外遊び、縄跳びなど）

### ③基礎基本の定着

- 個別最適な学びの研究
- 探究型学習の推進
- ICTの積極的活用
- プログラミング教育の推進
- N I E教育の実践
- 家庭学習の習慣化

#### ④感性の醸成

- 「想像する場面」の意図的な設定
- 自然体のあいさつの習慣化（お客さま・地域の人）
- 読書指導の充実（週4日の朝読書）
- 歌声が響く学校、児童会（心と身体の解放・心を合わせる・他を意識する）
- 俳句募集・掲示による「豊かな感性の醸成」

#### ⑤授業における多様な表現・発表・発信機会の充実

- 単元のまとめや発表会
- 学習発表会
- 学習成果の掲示

#### ⑥異学年が交流・協力して取り組む活動の充実

- 縦割り遊び
- とくみ体験学習
- 縦割り活動
- 清掃
- 春季大運動会
- カルタ大会
- 6年生を送る会
- 学習発表会
- 児童会

#### ⑦特別支援教育の充実

- 教育相談（迅速な対応）や職員研修の充実
- 子どもを語る会の充実（定期、適宜）
- 外部講師による研修

### (3) 西山形地区の豊富な人材・豊かな自然・唯一無二の歴史・伝統を、最大限に生かしていく。

#### ①各教科における地域素材の教材化 教科・総合的な学習の時間・クラブ活動の充実

- 地域素材の更なる開発と蓄積（総合的な学習の時間等、本校独自のカリキュラムの創造）
- 子どもも教師も学びの足跡を残し、地域を「誇り」に感じる心を醸成

#### ②PTAとの連携

- ホタル鑑賞会
- 親子行事・講演会など
- 外部指導者として

#### ③地域との連携

- 地域学校協働活動推進員やとくみ学習支援コーディネーターの協力
- 地区行事への参加
- 地域ネットワークの活用

### (4) 隣接するコミュニティセンターや学童クラブ等と連携し、それらにつながる学習を実施していく。

#### ①広がりや深まりのある活動・学習の研究と実践化

- 外国語やICTなど
- クラブ活動など
- 長期休業の課題

#### ②学校で行われている学習の積極的な情報発信と情報交流

- 学校だより（地区は回覧で）
- 学校ホームページ
- 地区民が来校する機会を設定（学習発表会等）
- 各種外部団体との連携会議（地区振興会・学童クラブ・民生児童委員など）

### (5) 教職員が集中して学習や活動の準備ができるように、共通理解を図りながら組織および環境を整えていく。

#### ①必要不可欠な会議・打合せを行うとともに、業務の更なる精選・見直しも模索していく。

- 議論・共通理解が必要なものと、打合せで済むものの識別化を図る。（会議の内容の計画化）
- 保護者や外部の方との活動の際は、特に丁寧に打合せを行う。

#### ②家庭への連絡・連携の効率化・厳選化

- 授業参観、学級懇談、個人面談（通知表配布）、学校ホームページ等の内容の充実
- 各種おたより等の厳選化への理解・協力依頼

#### ③指導し易く、かつ、これからの教育を担える新校舎の有効活用の推進

- 落成式・創立130周年記念事業の実施
- 旧校舎キラキラランドの整備と利活用の推進